

「イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド (毎月決算型)／(年2回決算型)」 西日本シティ銀行、西日本シティTT証券にて 本日より取扱い開始

PRESS RELEASE

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社(東京都千代田区、代表取締役社長兼 CEO 関崎 司)が運用する「イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)」ならびに「イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(年2回決算型)」(以下、「当ファンド」)の取扱いが、本日より株式会社西日本シティ銀行、および西日本シティTT証券株式会社にて開始されましたのでお知らせいたします。

当ファンドは、主としてインドの公益およびインフラ関連の債券(以下「公益インフラ債券」といいます。)に実質的に投資を行い、安定した収益の確保と信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。当ファンドにおける公益およびインフラ関連の事業には、例えば、電力、水道等(公益関連)、鉄道、道路、港湾、通信等(インフラ関連)、人々の生活や産業の発展に必要な社会基盤の整備・提供を行う事業が含まれます。

インドでは2014年5月に就任したモディ首相の元、インフラ整備の促進および、海外からの企業誘致を含む製造業強化を目的とした『メイク・イン・インド(インドでものづくりを)』キャンペーンなどの構造改革が進められてきました。また、インド準備銀行(中央銀行)のラジャン総裁就任以降、機動的な金融政策によってインフレ率の改善が実現されたことにより、インドは新興国の中では数少ない更なる金利低下による景気回復が期待される国となっています。これら二人の強力なリーダーによって、インドは2016年以降も7%を上回る高い実質GDP成長率を達成すると見込まれ¹、構造改革や財政面での改善が進むことにより、更なる債券市場への資金流入が期待されています。

イーストスプリング・インベストメンツは、こうしたインドの公益インフラ債券への投資機会を提供する初の公募追加型投資信託として、2015年に当ファンドを設定いたしました。設定以来、お取扱い販売会社、純資産総額ともに順調に増加し、本日時点でのお取扱い販売会社は「イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型)」が19社、「イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(年2回決算型)」が17社、2ファンドあわせた純資産総額は2016年1月末時点で343億円に上ります。また、弊社では今後も成長が見込めるインド投資に特化したファンドを、当ファンドを含め6本有し、運用資産残高は2016年1月末時点で計1,613億円と国内最大級²となっております。

高い経済成長を続けるアジアでは、年間約100兆円ものインフラ投資需要があるといわれています。³ 現在、国際機関や各国政府、企業が投資を行っていますが、膨大な需要を賄うには投資金額(供給)の更なる拡大が必要とされ、アジア開発銀行(ADB)の業務改革やアジアインフラ投資銀行(AIIB)の設立によりインフラ整備の加速が期待されています。

イーストスプリング・インベストメンツは、こうしたアジアにおけるインフラ投資機会の拡大に注目し、インフラ関連投資ファンドを積極的に提供しています。「イーストスプリング・インド・インフラ株式ファンド」(2006年設定)をはじめ、2015年には「イーストスプリング・インド公益インフラ債券ファンド(毎月決算型／年2回決算型)」および「イーストスプリング・アジア・オセアニア公益インフラ債券ファンド(毎月決算型／年2回決算型)」、「イーストスプリング・アジア・インフラ株式ファンド(3ヵ月決算型／年2回決算型)」を設定、現在合計7本の公募インフラ関連ファンドを運用しています。

当社グループは、150 年以上におよぶアジア投資における長い歴史と豊富な経験を強みとして、アジアを中心に 14 のマーケットで資産運用事業を展開しており、とりわけアジアのインフラ関連投資の分野では債券、上場株式に加え、プライベート・エクイティ/メザニンなど幅広い投資実績を有しています。当社は、これからもアジア投資のエキスパートとして、アジアの成長をとらえた投資商品を日本の投資家の皆様に提供し、中長期的な資産形成に貢献してまいります。

出所:

1. OECD(経済協力開発機構)。
2. リッパ ー のファンド別純資産総額データを元に、当社にて算出。
3. アジア開発銀行の資料、各種報道に基づき、当社にて作成。

以上

160225(03)

【イーストスプリング・インベストメンツについて】

イーストスプリング・インベストメンツは、世界有数の金融サービスグループを展開する英国ブルーデンシャル社(以下「最終親会社」)のアジアにおける資産運用事業部門です。イーストスプリング・インベストメンツは 2015 年 9 月末時点で約 824 億ポンド(約 14 兆円、1 ポンド=181.86 円)の運用資産を有するアジア最大級の資産運用会社であり、最終親会社は 165 年以上の歴史を有し、英国、米国、アジアなど世界各国で金融サービス業務を提供しています。

イーストスプリング・インベストメンツは日本をはじめシンガポール、香港、韓国、インドネシア、マレーシア、台湾、ベトナム、UAE、ルクセンブルグ、米国、英国で資産運用事業を展開し、さらに中国、インド、香港では合併事業を行っています。現在では 14 のマーケットで資産運用事業を展開しています。

【イーストスプリング・インベストメンツ株式会社 会社概要】

- ◆ 設立: 1999 年 12 月
- ◆ 資本金: 6 億 4,950 万円
- ◆ 住所: 東京都千代田区丸の内 2-6-1 丸の内パークビルディング
- ◆ 登録番号: 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 379 号
- ◆ 加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
- ◆ ホームページ: <http://www.eastspring.co.jp/>
- ◆ 運用資産残高: 約 1 兆 1,907 億円(2015 年 12 月末時点)

なお、イーストスプリング・インベストメンツおよび最終親会社は、主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社とは関係がありません。

【本プレスリリースに関して】

※当資料は、報道関係の皆様に向けて作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。 ※当資料は、投資勧誘を目的とするものではありません。